

# 令和2年 豊島区生活支援体制整備事業

1

地域のささえあいの  
仕組みづくり協議会の  
運営

2

地域資源データベース  
システム (Ayamu) の  
運用

3

としま  
ベンチプロジェクト

4

広報「つながる地域  
(まち) づくり通信」  
の発行

5

地域の実態調査と  
ネットワークの構築

# 1.地域のささえあいの仕組みづくり協議会(第1層協議体)の運営について

協議会の委員は、民生委員・児童委員や高齢者クラブ、商店会、金融機関、区民ひろば、銭湯組合、福祉専門学校、介護事業者などからなる11名です。



開催日	主なテーマ	ゲスト	参加者
第1回 令和2年7月22日	今後この協議体で取り組みたいこと		10名
第2回 令和3年3月18日	高齢者の生活課題解決に向けたICT活用について	(株)サンシャインシティ	9名

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となったため、実施回数が少なくなりました。
- ・次年度設置予定の第2層生活支援コーディネーターの紹介や、ベンチプロジェクトのマニュアルについても検討を行いました。

# 2.地域資源情報データベースシステム(Ayamu)の運用及び推進について

- ・地域資源の可視化と有効活用
- ・プロジェクトチームを実施し運用  
(2019年度運用開始)

掲載する情報は、社会参加や生活支援に関わる団体情報や活動ができる場所（体操や趣味のサークル、ボランティアグループ、サロン等）



高齢者総合相談センター  
見守り支援事業担当



生活支援  
コーディネーター



社会福祉協議会  
CSW



豊島区役所  
高齢者福祉課

★情報は以下の 目的で活用

- ①区民への活動のご紹介
- ②団体と担い手のマッチング
- ③区域や圏域別の地域アセスメント



## 地域資源情報データベースシステム

\*カシオ計算機株式会社運営の「Ayamu」を活用しています。

ささえあいの地域づくりの  
ための情報活用



窓口での情報提供



# 2.地域資源情報データベースシステム(Ayamu)の運用及び推進について

## ①AyamuPT開催

年2回開催。初めての地域資源の情報更新方法について確認。

## ②広報用チラシ作成

Ayamuの普及啓発ツールとしてチラシを作成。

**地域資源データベースシステム Ayamu**  
～生活支援サービスや介護予防・地域交流・社会参加の場のご案内～

豊島区では「生活支援(インフォーマル)サービス・介護予防・地域交流・社会参加の場」の情報を入力し、広く区民に利用して頂くため、「地域資源データベースシステムAyamu(アヤム)」をインターネット環境で導入しています。

この度、お近くの高齢者総合相談センターや社会福祉協議会のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)にて、登録情報を印刷して、区民やケアマネジャー等の皆様へ情報提供させて頂く取り組みを開始いたします。

掲載内容の一例

健康体操・としまる体操      地域のつどいの場 (サロン・大人食堂・高齢者クラブなど)      生活支援サービス      助け合い活動

キーワードや住所、種類、地区、参加者の募集状況などを組み合わせて、Ayamuに登録されている地域資源情報を検索します。検索結果は、下記の方法で印刷して、情報提供いたします。

マップ印刷      リスト表示      詳細情報

サービス情報一覧      サービス情報一覧      サービス情報詳細

「近所に趣味や体操ができる場はあるの?」  
「無理なくできるボランティア活動をやりたい」  
「生活支援のサービスを提供してくれるところを探したい」  
など、気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

# 3.としまベンチプロジェクト

地域のささえあいの仕組みづくり協議会の委員から、今年度の取り組みについて聞き取りを実施

→ 地域住民が頑張っ実現できるようなことを取り組むべき

→ これまでの議論中で「高齢者が自分の足で外出しやすいように地域にベンチを設置する」

「ベンチを置くことで地域にコミュニティができる」

等の意見をもとにベンチプロジェクトを実施

住宅街や道路沿いで、民家の植え込みの端や縁石、ポールなどに座って休んでいる方を見かけることがあります。不安定な場所に座って、後ろに倒れこんでケガをした高齢者を家に送り届けたという話もよく聞きます。

長時間歩くのがつらいなどの理由で外出を控え引きこもりがちになる高齢者、ちょっと休めると助かる親子連れなどが、ベンチがあると途中で休憩し、安心して外出できます。

また、ベンチを置くことで、そこに小さなコミュニティができ、人が座っていることで地域の防犯にもつながり、活発で暮らしやすいまちになります。



### 3.としまベンチプロジェクト

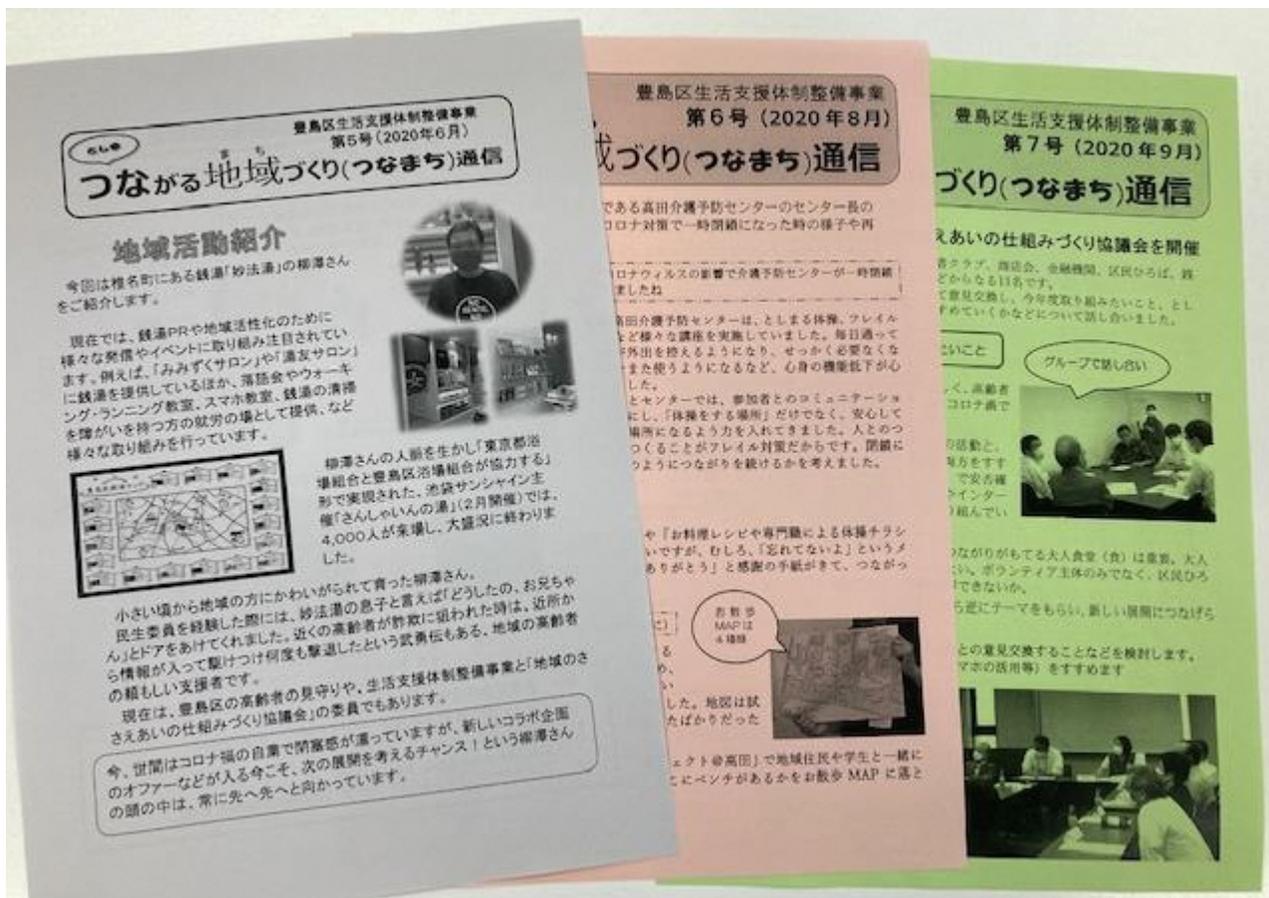
高田地域をモデル地区として、地域住民と一緒にベンチに色を塗るなどして、区民ひろば高南第一と日本福祉教育専門学校にベンチを設置しました。



# 4. 広報「としまつながる地域づくり通信」の発行

まち

## 第5号～9号発行



地域住民や団体への情報発信、活動啓発を行うとともに地域のささえあい意識を醸成

# 5.地域の実態調査とネットワークの構築

## 地域の各種会議、活動への参加

- ・ 地区懇談会
- ・ 自立支援地域ケア会議（元気はつらつ報告会）
- ・ 多職種連携の会
- ・ まちづくり検討会議
- ・ 介護予防リーダー養成講座
- ・ オンライン認知症カフェ
- ・ 地域のオンライン交流会
- ・ フレイル対策センター×メロス言語学院オンライン交流会

など